

井上英夫教授 略歴・業績目録

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/34416

井上英夫教授 略歴・業績目録

経 歴

氏 名 井上英夫（いのうえ ひでお）

生年月日 一九四七年一〇月一日、埼玉県秩父市生

学 歴

一九七〇年三月 早稲田大学第一法学部卒業

一九七〇年四月 早稲田大学大学院法学研究科民事法学専攻修士課程入学

一九七二年三月 同上修了

一九七三年四月 早稲田大学大学院法学研究科民事法学専攻博士課程入学

一九七八年三月 同上単位取得満期退学

職 歴

一九七八年四月 茨城大学講師人文学部

一九八〇年一月 茨城大学助教授人文学部

一九八五年一〇月 金沢大学助教授法学部に併任

一九八八年五月 金沢大学教授法学部

一九九二年一月 金沢大学大学院社会環境科学研究科地域社会環境学専攻博士課程専任教授

- 二〇〇三年四月 金沢大学法学部公共システム学科長（二〇〇四年三月まで）
- 二〇〇三年四月 金沢大学学長補佐（二〇〇五年三月まで）
- 二〇〇六年四月 金沢大学人間社会環境研究科比較社会制御論コース長（二〇〇六年三月まで）
- 二〇〇八年四月 金沢大学人間社会学域地域創造学類福祉マネジメントコース教授
- 二〇〇八年四月 金沢大学大学院人間社会環境研究科長（二〇一二年三月まで）

所属学会

日本社会保障法学会、日本法社会学会、日本教育法学会、民主主義科学者協会法律部会、日本社会福祉学会、日本地方自治学会、日本公共政策学会、日本介護福祉学会

その他

- 一九九五年四月～一九九八年三月 日本学術会議 社会法学研究連絡委員会委員
- 一九九八年七月～二〇一一年六月 金沢市障害者施策推進協議会会長
- 一九九九年七月～二〇一二年六月 金沢市介護保険運営協議会苦情等専門部会 部会長
- 二〇〇四年一月～二〇〇六年一月 日本社会保障法学会代表理事
- 二〇〇二年一月～二〇〇五年三月 厚労省ハンセン病問題検討会・委員長
- 二〇〇六年四月より 日本学術会議連携会員
- 二〇〇七年四月より 国民医療研究所副所長
- 二〇〇九年四月より 全国老人福祉問題研究会会長

二〇一一年五月より
二〇一二年六月より
生存権裁判を支援する全国連絡会会長
高齢期運動サポートセンター理事長

単 著

- * 『高齢者の人権が生きる地域づくり』自治体研究社、一九九四年
- * 『国際高齢者年と国際行動計画』日本高齢者運動連絡会、一九九八年
- * 『고령화 사회와 유엔 국제행동계획』吳聖廣・韓東希訳、世宗出版社、一九九九年
- * 『高齢化への人類の挑戦』萌文社、二〇〇三年
- * 『患者の言い分と健康権』新日本出版社、二〇〇九年
- * 『障害のある人、高齢者と人権―住み続けられる地域を創る』富山県生活環境文化部県民生活課、二〇一一年
- * 『住み続ける権利 貧困、震災をこえて』新日本出版社、二〇一二年

編 著

- * 堀木訴訟運動史編集委員会編『堀木訴訟運動史』（編集委員）法律文化社、一九八七年
- * 小川政亮、梶井幸代、井上英夫編『老後づくりネットワーク―北陸からのメッセージ』労働旬報社、一九八八年
- * 事典刊行委員会編『社会保障・社会福祉事典』（編集委員）労働旬報社、一九八九年
- * 井上英夫編著『障害をもつ人と参政権』法律文化社、一九九三年

- * 井上英夫、矢野正子編著『提言 魅力ある看護のために』労働旬報社、一九九四年
- * 井上英夫、上村政彦、脇田 滋編著『高齢者医療保障』労働旬報社、一九九五年
- * 日本社会保障法学会編『講座 社会保障法』全六卷（総括編集委員）法律文化社、二〇〇二年
- * 日本社会保障法学会編『講座 社会保障法第四卷』（編集委員）法律文化社、二〇〇二年
- * 事典刊行委員会編『社会保障・社会福祉大事典』（編集代表）旬報社、二〇〇四年
- * 井上英夫監修『人権と医療―医師と法律家の対話』石川県保険医協会、二〇〇五年
- * 井上英夫、高野範城編著『実務 社会保障法講義』民事法研究会、二〇〇七年
- * 『小川政亮著作集』全八巻（編集代表）大月書店、二〇〇七年
- * 脇田 滋、井上英夫、木下秀雄編著『若者の雇用・社会保障』日本評論社、二〇〇八年
- * 井上英夫、川崎和代、藤本文朗、山本 忠編著『障害をもつ人々の社会参加と参政権』法律文化社、二〇一一年
- * 福祉国家と基本法研究会、井上英夫、後藤道夫、渡辺治編著『新たな福祉国家を展望する―社会保障基本法・社会保障憲章の提言』旬報社、二〇一一年
- * 早川和男、井上英夫、吉田邦彦編著『災害復興と居住福祉』信山社、居住福祉研究叢書五、二〇一二年

論 文

* 「公共部門におけるスト権の国際的動向とスト規制」(二3(1)、三2(1)(2)、三3分担執筆)

日本労働法学会誌四四号、一九七五年

- * 「戦後初期労災補償理論」 早稲田大学法研論集一二号、一九七五年
- * 「タフト・ハートレイ法全国緊急事態条項の機能とその問題点」 早稲田大学比較法学一〇巻一号、一九七五年
- * 「諸外国の公務公共部門におけるストライキ権——アメリカ」 法律時報臨時増刊『ストライキ権』一九七六年
- * 「賃金の支払の確保に関する法律」の制定過程と問題点」 日本労働法学会誌四九号、一九七六年
- * 「生活保護法の形成過程と機能（上）」 早稲田法学会誌二七巻、一九七七年
- * 「生活保護法の形成過程と機能（中）」 早稲田法学会誌二八巻、一九七八年
- * 「生活保護法の形成過程と機能——新生活保護法の制定と新・旧生活保護法の性格・機能をめぐって」 茨城大学政経学会雑誌四〇号、一九七九年
- * 中山和久編著『看護職員』（第三章、四章Ⅰ、六章Ⅴ分担執筆） 労働旬報社、一九七九年
- * 「上野訴訟——障害者の社会的活動権をめぐる」 小川政亮編著『社会保障裁判——戦後社会保障権運動の発展』ミネルヴァ書房、一九八〇年
- * 「米子生健会事件——人間の尊厳に値する生活保護法確立のために」 小川政亮編著『社会保障裁判——戦後社会保障権運動の発展』ミネルヴァ書房、一九八〇年
- * 「三柏園事件——国民の健康を守るための闘いと刑事弾圧」 小川政亮編著『社会保障裁判——戦後社会保障権運動の発展』ミネルヴァ書房、一九八〇年
- * 「社会福祉の動向と地方自治体——下館市の社会福祉」 茨城県自治体問題研究所編『都市問題と自治体政策』自治体研究社、一九八〇年

- * 「障害者の社会参加と損害賠償」法社会学三三号、一九八一年
- * 「損害賠償判例にあらわれた障害者」茨城大学人文学部紀要一四号、一九八一年
- * 「団体交渉における行政機関」日本労働法学会編『現代労働法講座』第四卷、一九八一年
- * 「国際障害者年と障害者の労働保障」日本労働法学会誌五八号、一九八二年
- * 「地方自治体における障害者の生活―障害者の就業実態を中心に」茨城大学政経学会雑誌四五号、一九八二年
- * 「社会保障法の提起するもの」法の科学一〇号、一九八二年
- * 「障害者の人権保障をめぐる国際的動向と堀木訴訟」法律時報、一九八二年七月号
- * 「地方自治体における障害者施策の動向」障害者問題研究三三号、一九八三年
- * 「人権としての社会保障確立の意義と課題」賃金と社会保障八六五号、一九八三年
- * 「ここまでできた老人差別政策―老人保健法の実態と違憲性」中央社会保障推進協議会、社会保障、一九八三年六月号
- * 「社会保障法の視点からみた教育条件基準論」日本教育法学会年報一三号、一九八四年
- * 「社会保障権の発展と社会保障憲章」小川政亮編著『人権としての社会保障原則』ミネルヴァ書房、一九八五年
- * 「人間の尊厳と社会保障の権利」茨城大学人文学部、現代日本経済社会研究七号、一九八五年
- * 「老人保健法と医療『再編』」週刊社会保障、一九八五年一月一日号
- * 「高齢化社会と高齢者の人権保障」法律のひろば、一九八六年二月号
- * 「『労働者派遣法』の施行をめぐる動向と問題点」労働法学会誌六八号、一九八六年

- * 『老人医療』の動向と問題点」日本医事法学会編『医事法学三』日本評論社、一九八八年
- * 「高齢者医療保障の理念と原則―『在宅医療』の条件を巡って」小林三衛先生退官記念論文集『現代財産権論の課題』敬文堂、一九八八年
- * 「障害者の参政権保障と玉野事件―世界人権宣言公布四〇周年に寄せて」法律時報、一九八八年一月号
- * 「世界人権宣言公布四〇周年と障害者の人権」賃金と社会保障、一九八八年九九五号
- * 「障害者の参政権保障の歴史と現状」早稲田法学六四卷四号、一九八九年
- * 「障害者と参政権保障」季刊障害者問題研究六二号、一九九〇年
- * 「国民の健康権保障と国保『改革』」賃金と社会保障、一九九〇年五月上旬号
- * 「障害者と生活保障」初井常喜編『社会保障法』エイデル研究所、一九九一年三月
- * 「健康権と医療保障」講座『日本の保健・医療』第二巻『現代日本の医療保障』労働旬報社、一九九一年五月
- * 「過疎化と高齢者の人権保障」ゆたかなくらし、一九九一年一〇月号
- * 「医療の『営利化』と健康権・医療保障」『地域と自治体』第一九集、一九九一年一月
- * 「障害をもつ人々と参政権保障―玉野公職選挙法事件（大阪高裁第二刑事部昭和六一年（う）第四一八号）証言記録」金沢法学第三四卷二号、一九九二年
- * 「障害をもつ人々と参政権保障」障全協、共作連、全障研編『障害者の人権二〇の課題』全障研出版部、一九九二年
- * 「健康権保障と看護婦人材確保法」労働法律旬報一三二二号、一九九三年六月上旬号

- * 「在日韓国・朝鮮人と社会保障の権利―第二次塩見訴訟によせて」 金沢法学第三六卷一・二合併号、一九九四年
- * 「公的扶助の権利―権利発展の歴史」 河合幸尾編著 『「豊かさの中の貧困」と公的扶助』 法律文化社、一九九四年
- * 「健康権と高齢者の医療保障」 日本社会保障法学会誌第九号、一九九四年
- * 「社会保障の権利をめぐる現状と課題」 『法律時評』 法律時報、一九九四年九月号
- * 「社会保障『再編』『社会福祉・改革』の一〇年と将来展望―医療を中心に」 労働法律旬報、一九九四年一二月月上旬号
- * 「人権としての社会保障と介護保障」 医療・福祉問題研究会医療・福祉研究八号、一九九六年
- * 「貧困・不平等と権利保障―『豊かな社会』と平等の復権」 庄司洋子・杉村宏・藤村正之編 『貧困・不平等と社会福祉』 有斐閣、一九九七年
- * 「社会保障における国と自治体―『介護保険』を例に」 金沢大学社会環境科学研究科平成八年度特定研究『国際情報化時代における「中央―地方」関係の総合的研究』 一九九七年
- * 「健康権と健康保険法第四四条の二―はり・きゅう治療と療養費支給の可否」 金沢大学社会環境科学研究科社会環境研究第二号、一九九七年
- * 「健康権と健康保険法第四四条の二―はり・きゅう治療と療養費支給の可否」 医道の日本、一九九七年七月―十一月号
- * 「健康権と患者の権利―自己決定とインフォームド・コンセント」 社会福祉研究七〇号、一九九七年

- * 「大規模災害と医療保障」 日本社会保障法学会社会保障法一三号、法律文化社、一九九八年
- * 「国際高齢者年と日本の課題 一〇四」 賃金と社会保障、一九九八年六月下旬、八月下旬、一〇月下旬、一二月下旬号
- * 「社会保障・社会福祉『構造改革』と労働運動の課題」 全労連交流と資料、一九九九年五月号
- * 「国際高齢者年と家庭科教育の課題」 月刊家庭科研究、一九九九年一〇月号
- * 「国際高齢者年と『障害者』の人権保障の課題」 障害者問題研究、一九九九年一月号
- * 「健康権と地域医療・住民参加」 国民医療研究所報四二号、一九九九年
- * 「国際高齢者年とMSWの役割」 医療ソーシャルワーカー四九号、一九九九年二月
- * 「高齢者、『障害者』の人権と日本の課題」 早稲田法学七五巻二号、二〇〇〇年
- * 「障害をもつ人と保健・医療保障の政策課題」 河野正輝他編『講座 障害をもつ人の人権』第三巻、有斐閣、二〇〇〇年
- * 「社会保障争訟の意義と課題」 社会保障法一六号、二〇〇一年
- * 「医療保障法・介護保障法の形成と展開」 日本社会保障法学会編『講座 社会保障法第四巻』法律文化社、二〇〇一年
- * 「高齢者の人権と医療保障―生存権から健康権へ」 月刊保団連、二〇〇一年一〇月号
- * 「介護保険と住民参加」 橋本和幸他編著『高齢化社会と生活選択』多賀出版、二〇〇二年
- * 「戦争責任の構造と『従軍慰安婦』問題」 「従軍慰安婦と戦後半世紀」 池明観他編著『日韓の相互理解と戦後補償』日本評論社、二〇〇二年
- * 「障害をもつ人々の参政権保障の国際的動向―国際人権規約を中心に」 法律時報、二〇〇二年六

月号

- * 「二一世紀における高齢者の人権」医療・福祉研究一三号、二〇〇二年
- * 「ともに創り ともに生きる—金沢市『障害者』計画の世界」日本学術会議学術の動向、二〇〇二年一〇月号
- * 「障害をもつ人々と政治参加—『完全参加と平等』実現のために」河野正輝・関川芳孝編著『講座障害をもつ人の人権』第一巻、有斐閣、二〇〇二年
- * 「高齢者の人権と第二回高齢化世界会議」二一世紀における社会保障とその周辺領域」編集委員会編『二一世紀における社会保障とその周辺領域』法律文化社、二〇〇三年
- * 「地域と福祉政策」法社会学五九号、二〇〇三年
- * 『固有のニーズ』をもつ人と人権保障」障害者問題研究三一巻四号、二〇〇四年
- * 「일본에서의 고령자 인권과 시민운동」주성수 편집『정치과정에서의 NGO: 한국과 일본의 비교』漢陽大学校出版部、二〇〇四年
- * 「ハンセン病政策と人権」社会福祉研究第九一号、二〇〇四年
- * 「ハンセン病療養所将来構想の意義と課題」賃金と社会保障一三七九号、二〇〇四年一〇月上旬号
- * 「人権保障の発展と『障害のある人』の権利条約」障害者問題研究三四巻一号、二〇〇六年
- * 「ハンセン病」日本ソーシャルインクルージョン推進会議編『ソーシャル・インクルージョン—格差社会の処方箋』中央法規、二〇〇七年
- * 「マンパワーからヒューマンパワー—人権の不在の手へ」医療・福祉研究一六号、二〇〇七年
- * 「人権としての社会保障と小川権利論」連載「二一世紀の社会保障法研究に問われるもの—権利論

の再構築の観点から」第一回、法律時報、二〇〇七年四月号

* 「社会保障の法と政策―社会保障法学の立場から」社会保障法二二号、二〇〇七年

* 「格差Ⅱ不平等・貧困社会とセーフティネットⅡ人権」法の科学三九号、二〇〇八年

* 「若者をめぐる社会保障政策の現状と課題」脇田滋・井上英夫・木下秀雄編著『若者の雇用・社会保障』日本評論社、二〇〇八年

* 井上英夫、井口克郎、村田隆史「能登半島地震による住民の生活被害の実態と人間と地域の復興への課題―能登半島地震被災住民への聞き取り調査を踏まえて」金沢大学能登半島地震調査部会平成一九年度報告書『過疎・超高齢化地域での震災に関する総合的調査研究』、二〇〇八年

* 『政策・理論フォーラム』ハンセン病問題と人権、社会福祉』社会福祉学四九巻三号、二〇〇八年

* 「人の尊厳と人権」日本認知症学会監修、岡田進一編著『認知症ケアにおける倫理』ワールドプランニング、二〇〇八年

* 「生存権裁判と憲法二三五条」日本の科学者四三巻一一号、二〇〇八年一月号、日本科学者会議編『憲法と現実政治』本の泉社、二〇一〇年所収

* 「ハンセン病に見る医療と人権（侵害）」『改訂保健医療ソーシャルワーク実践』中央法規出版、二〇〇九年

* 「健康権の意義と課題」松田亮三・棟居徳子編『健康権の再検討―近年の国際的議論から日本の課題を探る』立命館大学生存学研究センター報告九、二〇〇九年

* 「補論―住み続ける権利―能登半島地震と四川大地震」金沢大学能登半島地震学術調査部会『安心

して住み続けられる地域を創る―金沢大学能登半島地震学術調査部会報告書』、二〇一〇年

* 「参政権保障、表現の自由・コミュニケーション保障と自己決定・選択の自由」荒木誠之・桑原洋子編『社会保障法・福祉と労働法の新展開―佐藤進先生追悼』信山社、二〇一〇年

* 「患者と人権―健康権を中心に」文化連情報三九〇号、二〇一〇年九月号

* 「健康権の発展と課題―二一世紀を健康権の世紀に―」民医連医療、二〇一〇年十一月号

* 「초고령사회와 고령자의 존엄·인권: 일본의 경험」민주정책연구원, 사람과 정책, 二〇一一年 가을 호

* 「平和的生存権と人権としての社会保障」自治と分権、二〇一一年冬、四二号

* 「障害をもつ人の社会参加の拡大と参政権保障の発展」『障害をもつ人々の社会参加と参政権』フィールドⅢ一、法律文化社、二〇一一年

* 「平和的生存権と人権としての社会保障」月刊全労連、二〇一一年五月号

* 「大震災と人権保障―住み続ける権利と健康権の確立に向けて」人権と部落問題、二〇一一年九月増刊号

* 「住み続ける権利と人権としての社会保障」月刊保団連、二〇一一年一月号

* 「生存権裁判と新たな福祉国家」生活と健康、二〇一二年一月号

* 「震災を見る視点と住み続ける権利」早川和男、井上英夫、吉田邦彦編著『災害復興と居住福祉』二〇一二年

* 「生存権裁判と人権としての社会保障」議会と自治体、二〇一二年五月号

* 「生存権裁判と憲法二五条」資料と解説 社会保障、二〇一二年初夏号

* 「貧困・格差問題とナショナルミニマムの全体構想」日本社会保障法学会編『新・講座社会保障法』第三卷『ナショナルミニマムの再構築』法律文化社、二〇一二年

* 「災害と社会保障」日本社会保障法学会編『新・講座社会保障法』第二卷『ナショナルミニマムの再構築』法律文化社、二〇一二年

* 『社会保障と税の一体改革』と生存権裁判」行財政研究八二号、二〇一二年

* 「貧困問題と住み続ける権利」建設政策、二〇一二年九月号

判例研究

* 「時間内組合活動の正当性」労働法律旬報九一八号、一九七六年

* 青木宗也・横井芳弘編『判例ノート労働法』（第二〇章労災補償 九件担当）、法学書院、一九七六年

* 「東京鍛工所天谷労災事件・横浜地裁判決の意義」労働法律旬報九三二号、一九七七年

* 「失対労働者の団体交渉権」季刊労働法一一八号、一九八〇年

* 「人事条項の効力」別冊ジュリスト労働判例百選（第四版）、一九八一年

* 「堀本訴訟最高裁判決の法理とその不当性」季刊教育法四六号、一九八二年

* 「人事条項の効力―日本紙工業事件」別冊ジュリスト労働判例百選（第五版）、一九八九年

* 「健康保険法にいう使用関係の判断基準と被保険者資格」、「虚偽の資格取得届けによる国民健康保険被保険者証の交付と詐欺罪」別冊ジュリスト社会保障判例百選（第二版）、一九九一年

* 「被保護者の死亡と訴訟の承継―朝日訴訟」別冊ジュリスト社会保障判例百選（第三版）、

二〇〇〇年

- * 「被保護者の死亡と訴訟の承継―朝日訴訟」別冊ジュリスト社会保障判例百選（第四版）、二〇〇八年

その他

- * 「看護職員の雇用と労働及び生活条件（一九七六年）」〇第六一回総会報告書Ⅶ（一）Ⅶ（二）共訳）賃金と社会保障六九六号、一九七七年、七七八号、一九七九年
- * 法律事典編集委員会編『労働運動・市民労働法律事典』（項目分担）大月書店、一九七九年
- * 「国際常識化した『最高の健康水準』の達成（解説）」賃金と社会保障七七八号、一九七九年
- * 日外喜八郎ほか『基本マスター労働法』（六項目担当）法学書院、一九八二年
- * 上坪 陽・堀木文子著『堀木文子からあなたへ』（分担執筆）、あいわ出版、一九八二年
- * 「障害者施策と行政改革」障害児の保育と教育三号、一九八二年
- * 「堀木訴訟口頭弁論にむけて」賃金と社会保障八三九号、一九八二年
- * 「社会保障の権利確立」賃金と社会保障八三五号、一九八二年
- * 「障害者施策の国際的動向（解説）」賃金と社会保障八四一号、一九八二年
- * 「社会保障研究会の運動」『社会保障運動全史（分担執筆）』労働旬報社、一九八二年
- * 遠藤浩也編『民事法小事典』（分担執筆）一粒社、一九八二年
- * 「法律家からみた老人保健法の違憲性」月刊・保団連、一九八三年七月号
- * 「職業訓練法概説」『基礎法コンメンタール・新版労働基準法』日本評論社、一九八三年

- * 「老人保健法の法的問題点」井上他『老人差別の悪法を斬る』あけび書房、一九八三年
- * 「法律家からみた老人保健法の違憲性」月刊保団連、一九八三年七月号
- * 「障害者の人権保障と上野訴訟」賃金と社会保障八七六号、一九八三年
- * 小川政亮編『社会保障法を学ぶ』（項目分担）有斐閣、一九八三年
- * 「老人保健法施行から一年」月刊・保団連、一九八四年五月号
- * 「老人保健法をめぐる実態」モダンメイシン、一九八四年五月号
- * 島田信義監修『労働基準法——その積極的な活用のしかた』（項目分担）学習の友社、一九八四年
- * 「医療再編と『有料化』政策」社会保障ハンドブック一九八四年版、一九八四年
- * 「法律時報学会回顧・社会保障法」法律時報、一九八四年一月号
- * 「法律時報学会回顧・社会保障法」法律時報、一九八五年一月号
- * 「医療保障の動向と課題」賃金と社会保障九二二号、一九八五年
- * 国民医療・医療労働研究会『看護労働の未来』座談会、労働旬報社、一九八五年
- * 「法律時報学会回顧・社会保障法」法律時報、一九八六年一月号
- * 「理念なき長寿社会の選択」医療生協運動二二四、二二五号、一九八六年
- * 「資料解説・老後保障最新情報資料集」四（一九八六年）、五（一九八六年）、六（一九八七年）
- * 「明るい長寿社会——その虚像と実像——六一年版厚生白書と経企庁研究会報告」賃金と社会保障
九五八号、一九八七年
- * 「高齢者の医療・福祉と国家責任——真の長寿社会実現のために」月刊保団連、一九八七年九月号
- * 中央社会保障推進協議会編『真の社会保障めざして』（分担執筆）あけび書房、一九八七年

- * 「社会保障はどう変質されつつあるか」中央社保協「日本の社会保障憲章づくり」専門委員会『真の社会保障めざして』あけび書房、一九八七年
- * 『再編』構造のニード論、公平論」全日本民医連国民医療防衛闘争本部『医療・福祉切捨てに立ち向かう草の根運動―誰もが等しく、平和で、人間らしい生活を』一九八七年
- * 「社会保障・医療『再編』下の国保制度破壊―憲法、国保法からみた問題点」月刊民商、一九八七年一二月号
- * 「社会保障『再編』と社会保障法研究の課題―基本的人権の視点から」医療・福祉研究創刊号、一九八八年
- * 「社会保障をどうする」福祉のひろば臨時増刊号『お茶の間で福祉を考える』大阪福祉事業財団一九八八年
- * 「玉野事件―障害者に政治参加の権利を」玉野ふいさん守る会、玉野事件弁護団、大阪支援連絡会準備会『言語の不自由な玉野さんの政治参加を―選挙活動の自由を求めて』（パンフ）一九八八年
- * 「看護を変える」中山和久、江尻尚子編著『看護職員の権利』労働旬報社、一九八九年
- * 「玉野無罪は歴史の必然」玉野ふいさん守る会、玉野事件弁護団『言語の不自由な玉野さんの政治参加を―いま問われている主権者としての「参政権」』（パンフ）一九八九年
- * 「満開の桜の下で」ゆたかなくらし、一九八九年六月号
- * 「人権の旗を高く掲げよう（一）（二）」全国心臓病の子供を守る会『心臓を守る』、一九八九年七、八月号
- * 「巻頭言―パリから奥能登珠洲へ」医療・福祉研究二号、一九八九年

* 「いわき市国保行政調査報告―人命は羽毛よりも軽いか」 「国民医療を守る共同行動」 推進ニュース一四号、一九八九年

* 「研究運動の組織論的課題」 総合社会福祉研究第二号、一九九〇年

* 「国保法『改正』の内容と問題点」 新医協新聞、一九九〇年六月二一日号

* 井上、小山高志、平野方紹、田中光春、座談会 「医療、保健、福祉『改革』の影響」 民医連医療、一九九〇年七月号

* 「九〇年『決戦』と第二次医療法『改正』」 岡山保険医新聞、一九九〇年一〇月一一日号

* 講演記録 「国立久留米病院の存続とよりよい医療をめざして」 国民の医療と国立病院・療養所を守る中央連絡会議編 講演集 『国立病院・療養所の存続・強化をめざして』、一九九〇年

* 「患者さんを医療の主人公に―『開業医宣言』について」 全国保険医新聞、一九九一年一月五日号

* 『『老』を捨てる―一〇周年によせて』 I、II、北陸婦人問題研究所かいほう、一九九一年五月号、八月号

* 「老人医療費『無料化』の意義と健康権」 「国民医療を守る共同行動」 推進ニュース一九九二年一
号

* 「一九九〇年代の中小企業(二二)(二三)(二四)、―高齢化問題と中小企業、「老」を捨てる、高齢化問題と中小企業」、中小企業労働福祉協会労働と経営、一九九二年一、二、三月号

* 「シンポ 権利としての福祉の確立を―報告集」 障害者の生活と権利を守る兵庫県民集会、一九九二年

* 「高齢化社会と人権としての社会保障」 岡山保険医新聞、一九九二年八月二五日号

- * 「健康権と高齢者の医療保障」、「高齢期の生活保障と年金」 金沢大学大学教育開放センター、金沢大学公開講座『四・高齢化時代の医療と福祉』一九九二年一〇月一日
- * 「健康保険『一元化』と土建国保」 第一八回幹部学校講義録 建設労働のひろば臨時増刊号 一九九二年一〇月
- * 「討論」患者の権利法をつくる会編『あなたが医療の主人公』大月書店、一九九二年
- * 井上、西岡、我妻「新春座談会 展望もちチャンス生かす年に」 民医連医療、一九九三年一月号
- * 「年金で悩んでいませんか」 みんなのねがい、一九九三年二月号
- * 「看護業務の検討―管理か参加か」 医療労働三六二号、一九九三年
- * 「看護業務検討の視点―管理か参加か」 労働法律旬報一三一五号、一九九三年七月上旬号
- * 「法律家をたずねて」 受験新報、一九九三年七月号
- * 「侵害される生存権」 民医連医療、一九九三年一月号
- * 「玉野裁判の意義―玉野無罪は歴史の必然」 玉野ふいさんを守る会、玉野裁判支援連絡会、玉野ふいさんを支援する会、玉野事件弁護団『玉野裁判一三年のあゆみ―私の声を聞いてください』 一九九三年一二月
- * 講演・調査記録「現地調査―北海道実行委員会『今人間らしく生きる権利を―北海道の医療と福祉を守る全国現地調査報告集』一九九四年
- * 「参政権の意義と現状」 みんなのねがい、一九九四年一月号
- * 『「二一世紀福祉ビジョン」を読む―全ての道は増税に通ず―新医協、一九九四年五月一日号
- * 「福祉は増税の枕詞か―『二一世紀福祉ビジョン』を見る」 民医連医療、一九九四年七月号

- * 「画期的な意味持つが」日本聴力障害新聞、一九九四年八月一日号
- * 「高齢者と参政権」ゆたかなくらし、一九九四年九月号
- * 「保育所を人権の砦に―守るべきものはあるか―」保育情報二二一号、一九九四年
- * 『医療保険審議会国保部会・中間まとめ』を読む」福祉のひろば、一九九四年一〇月号
- * 「視点―国保・改革」と権利行使」資料と解説 社会保障、一九九四年一二月号
- * 「人権としての社会保障・健康権の歴史と展望」社会医学研究一三号、一九九四年
- * 「人間の尊厳・人権と看護」国民医療研究所所報二六号、一九九四年
- * 「健康権と・患者の権利」医療・福祉研究七号、一九九五年
- * 「新入職員のための人権保障入門」民医連医療、一九九五年四月号
- * 「過疎と健康権」住民と自治、一九九五年五月号
- * 「いま、医療従事者に求められるもの ―マンパワーからヒューマンパワーへ」民医連医療、一九九五年八月号
- * 「高齢者と阪神大震災」北陸婦人問題研究所かいほう四二号、一九九五年
- * 「一年後の被災地をどう見るか」賃金と社会保障、一九九六年五月上旬号
- * 井上英夫、西三郎、石川満 『介護保険』はこれでいいのか」住民と自治、一九九六年六月号
- * 講演記録 「介護保障を考える」まいけ、前編一九九六年八月号、後編九月号
- * 「保育労働者の役割が問われている」保育情報、一九九七年二月号
- * 「日本の社会保障の到達点と介護保険」ゆたかなくらし、一九九七年四月号
- * 「在宅ケアの基本的視点―人権保障の観点から」月刊保団連、一九九七年五月号

- * 「沼田稲次郎先生を偲ぶ」医療・福祉研究九号、一九九七年
- * 「FOR (ために) から OF (による) への第一歩」金沢手をつなぐ親の会会報五九号、一九九八年
- * 「憲法と医療・福祉、そして人権」秋田の医療と福祉をよくする会編『これからの医療・福祉』一九九八年
- * 「創造する権利の主体者へー『国連原則』『行動計画』から」ゆたかなくらし、一九九八年一〇月号
- * 「独立・参加・ケア・自己実現・尊厳の保障をー国際高齢者年の意義と課題」福祉のひろば、一九九九年一月号
- * 「国際高齢者年と日本の課題」国際高齢者年シンポジウム、女性と運動、一九九九年一月号
- * 「国際高齢者年ー日本の高齢者の人権①②③④⑤⑥」医療生協運動、一九九九年四月号ー九月号
- * 「国際高齢者年の理念から日本の介護保険制度を検証する(上、下)」ゆたかなくらし、一九九九年九月、一〇月号
- * 「独立、参加、ケア、自己実現、尊厳」住民と自治、一九九九年九月号
- * 「健康権・社会保障権と共済運動」月刊民商、一九九九年九月号
- * 「国際高齢者年と介護保障」福井典子編『続 どうなる どうする介護保険』、萌文社、一九九九年
- * 「国際高齢者年と家庭科教育の課題」家庭科研究、一九九九年一〇月号
- * 「障害をもつ人と参政権」ノーマライゼーション、一九九九年十一月号
- * 「子どもをつくったということ」県民教育文化センター通信四九号、一九九九年

- * 『構造改革』にいま必要な視点と運動―談―住民と自治、一九九九年二月月号
- * 「国際高齢者年と介護保険」医療・福祉研究一―号、二〇〇〇年
- * 「対談 国際高齢者年のねらいをどう具体化するか」同朋社会福祉研究一巻一―号、同朋大学社会福祉学会、二〇〇〇年
- * 翻訳「二〇〇一年に向けての高齢化に関する世界目標・実施戦略―国連事務総長報告・一九九二年」(上)(下)賃金と社会保障二〇〇〇年一月合併号、三月下旬号
- * 「介護保険と住民参加」ゆたかなくらし、二〇〇〇年六月号
- * 「投票『できない人』なくせ」『言 提案あり』毎日新聞、二〇〇〇年六月二四日
- * 井上英夫／白藤博行「対談 岐路にたつ『人権としての社会保障』」白藤博行・自治体問題研究所編『改正地方自治法を超えて』自治体研究社、二〇〇〇年
- * 「二一世紀を拓く権利保障マニュアル」くらしに役立つ制度のあらまし紹介、全生連、生活と健康を守る新聞、一五六五号、二〇〇〇年二月二四日号
- * 「学生無年金『障害者』訴訟をとおして日本の社会保障の問題点を考える」北海道・無年金障害者をなくす会『シンポジウム 年金制度の谷間―学生無年金障害者問題を考える』、二〇〇一年
- * 「国民健康保険料の滞納者への『制裁措置』と健康権保障」生活と健康、二〇〇一年三月一五―日号
- * 講演録「行革大綱と公的病院―健康権・医療保障と公的病院」医療労働四三二―号、二〇〇一年
- * 「玉野裁判から二〇〇年」みんなのねがい、二〇〇一年七月号
- * 講演録「保険料滞納者への制裁措置と健康権保障」京都保険医新聞二六―号、二〇〇一年八月
- * 「人間の尊厳と人権、戦争責任―①ポーランド」月刊国民医療、二〇〇一年六月号

- * 「人間の尊厳と人権、戦争責任」②デンマーク」月刊国民医療、二〇〇一年九月号
- * 「二〇世紀生存権・社会保障裁判の奇跡と二一世紀への教訓」ゆたかなくらし、二〇〇一年九月号
- * 「国民の政治意識と障害をもつ人の参政権」手話通訳問題研究七七号、二〇〇一年一月
- * 「人間の尊厳と人権、戦争責任」③ソウル・釜山」月刊国民医療、二〇〇二年一月号
- * 「人間の尊厳と人権、戦争責任」④上海」月刊国民医療、二〇〇二年二月号
- * 「人権の世紀と社会保障『裁判』」―『最低生活』保障から人間の『尊厳』の尊重へ」社会保障、二〇〇二年初夏号
- * 「二一世紀の社会保障を展望して」社会保障法一七号、二〇〇二年
- * 「二つの国際会議に出てその目的、意義を問う」宣伝研究、二〇〇二年六月号
- * 高齢者のための西日本NPO代表団編『一人の高齢者が死ぬと一つの図書館がなくなる』日本機関紙出版センター、二〇〇二年
- * 基調講演「医療・公衆衛生と人権」『シンポジウム 差別のない社会をめざして―ハンセン病熊本地裁判決から一年』皓星社ブックレット・一五、二〇〇二年
- * 「国際的な高齢者保障の視点とは何か―国連・第二回高齢化世界会議の意義と課題」ゆたかなくらし、二〇〇二年一月号
- * 社会福祉辞典編集委員会編『社会福祉辞典』（項目分担）大月書店、二〇〇二年
- * 「戦後日本の社会保障政策の推移―社会保障制度審議会勧告の栄光と挫折」連載 歴史探訪 第一四回、社会保障春号、二〇〇四年
- * 「私と朝日訴訟」復刻版『人間裁判』大月書店、二〇〇四年

* 「シリーズ 患者の言い分 井上英夫の生存権から健康権へ―二二世紀の医療」医療経営情報、

二〇〇二年二月号より二〇〇四年一二月号まで、一八回連載

○二年二月号 「①二二世紀を健康権の世紀に」

○二年四月号 「②ハンセン病裁判は終結したか」

○二年六月号 「③国連高齢化世界会議に出席して」

○二年八月号 「④患者と医師の関係パートI」

○二年一〇月号 「⑤患者と医師の関係パートII」

○二年一二月号 「⑥人権のない手―患者と医師の関係パートIII」

○三年二月号 「⑦国家による二つの拉致」

○三年四月号 「⑧平和と健康権」

○三年六月号 「⑨苦海浄土―水俣病とハンセン病」

○三年八月号 「⑩健康権の根拠」

○三年一〇月号 「⑪最高裁決定と自己決定」

○三年一二月号 「⑫大学医学部二態」

○四年二月号 「⑬健康権のない手の値段」

○四年四月号 「⑭医師『オールマイティ』時代の終焉」

○四年六月号 「⑮国家無責任時代と自己責任」

○四年八月号 「⑯『構造改革』と日歯汚職事件」

○四年一〇月号 「⑰輝く人権のない手」

〇四年一二月号 「^⑱二つの原罪を克服すること」

* 対談「ハンセン病、虐げられた人々の尊厳回復を目指して」人権トーク、人権教育啓発推進センター『アイユ』二〇〇四年

* 「二〇年の闘い、長寿園から栗生楽泉園へ」国民の医療と国立病院・療養所を守る中央連絡会議『国民の医療をまもる―国立病院つぶしはゆるさない 国立中連一五年のあゆみ』二〇〇四年

* 『平成一六年度人権啓発フェスティバル岡山会場 人権シンポジウム』『人権の世紀』をむかえて みんなではぐくむ人権文化』人権教育啓発推進センター発行報告書、二〇〇五年

* 座談会「国民医療・健康権の確立と改憲問題」国民医療二二二号、二〇〇五年

* 「くらしと福祉、平和と人権―戦後六〇年に」『資料と解説 暮らしと福祉、平和と人権―憲法のつどい』二〇〇五年

* 「はじめに」社会保障法第二〇号、二〇〇五年

* 「私たち自らの問題として、これからの療養所を考える」（インタビュー）財団法人兵庫県人権啓発協会『KIZUNA』二〇〇五年六月号

* 「人権としての社会保障と堀木訴訟」福祉のひろば、二〇〇五年九月号

* 「ハンセン病政策と人権 浅井あいさん逝く」ゆたかなくらし、トークナウ、二〇〇五年九月号

* 「西岡先生と健康権・医療保障…社会政策学と法学」西岡幸泰さん追悼会『心に太陽を』、二〇〇五年

* 「生存権・健康権の確立と『看護・労働プロジェクト』国民医療二一七号、二〇〇五年

* 「暮らしと福祉、平和と人権―敗戦後六〇年に―」医療・福祉研究一五号、二〇〇五年

- * 「人権と医師―過去、現在、将来」月刊保団連、二〇〇六年二月号
- * 「日本社会の二つの『原罪』―ハンセン病政策と七三一部隊」放送大学石川学習センター『翌檜』四三号、二〇〇七年
- * 「憲法改悪を阻止し、二一世紀を人権の世紀に」月刊国民医療、二〇〇七年一月号
- * 辻哲夫、井上英夫「対談 社会保障の将来を語る」賃金と社会保障、二〇〇七年合併号、一四三三・一四三四号
- * 「医療と人権と―若月俊一先生を悼む」月刊国民医療、二〇〇七年二月号
- * 講演録「コミュニケーション障害のある人の生活を支える視点―ノーマライゼーションと人権」日本文語聴覚士協会、言語聴覚研究第四卷一号、二〇〇七年
- * 「高齢者の尊厳と人権」（人権啓発講演記録）愛媛県人権啓発センター、二〇〇七年
- * 『おんぼらあと』でいきましよう」ゆたかなくらし、二〇〇七年七月号
- * 小川政亮・井上英夫「高齢者の人権と老人福祉問題研究会の未来を語る」ゆたかなくらし、二〇〇八年一、二月合併号
- * 「人間の尊厳と人権、戦争責任―〇八年版 第一回―ノルウェイ…ハンセンのふるさとを訪ねて―」月刊国民医療、二〇〇八年一月号
- * 講演録「認知症をめぐる社会的課題―基本的人権の立場から」『第九回日本早期認知症学会大会報告集』、二〇〇八年
- * 講演録「格差⇨不平等・貧困とセーフティネット⇨人権」月刊地域と人権、二〇〇八年三月号
- * 講演録「看護職員と人権―EEO看護職員条約と人権にない手」月刊国民医療、二〇〇八年三月

号

* 「震災を見る視点」医療・福祉研究一七号、二〇〇八年

* 「人間の尊厳と人権、戦争責任」〇八年版 第二回―障害（固有のニーズ）をもつ人の尊厳と人権」月刊国民医療、二〇〇八年四月号

* 講演録「障害をもつ人の参政権保障と『障害のある人の権利に関する条約』」参政権保障連絡会 ニュース四一号、二〇〇八年

* 「人権としての社会保障」女性白書、二〇〇八年

* 鼎談「新たな主体形成の方向と課題」脇田滋・井上英夫・木下秀雄編著『若者と雇用・社会保障』日本評論社、二〇〇八年

* 対談「戦後日本の社会保障理論と政策の推移―社会保障制度審議会勧告の栄光と挫折」中央社会保障推進協議会『歴史探訪』再掲、二〇〇八年

* 「ハンセン病問題と人権、社会福祉」社会福祉学四九卷三号、二〇〇八年

* 『高齢化への人権の挑戦』出版記念講演「日本高齢者NGO会議ニュース七九号、二〇〇九年

* 「新春対談 社会福祉基礎構造改革・市場原理主義破たん」二〇〇八年からさらに運動が飛躍する二〇〇九年へ」ゆたかなくらし、二〇〇九年一月号

* 「障害のある人の参政権保障の現状と課題」ノーマライゼーション、二〇〇九年一月号

* 「人間の尊厳と人権、戦争責任」〇八年版第三回 フィリピン・香港『看護・介護労働調査』から」月刊国民医療、二〇〇九年三月号

* 紅茶の香り 番外編「本誌一月号新春対談について」ゆたかなくらし、二〇〇九年三月号

- * 「人権のない手をどう育てるか―医療・介護分野の人材確保に関するフィリピン・香港調査から」医療労働、二〇〇九年三月号
- * 「看護・介護労働者の受け入れ問題を考える（上）―フィリピン・香港調査から」ゆたかなくらし、二〇〇九年五月号、「同（下）」六月号
- * 「人間の尊厳と人権、戦争責任―〇九年版第一回 患者・利用者の人権とにない手の人権」月刊国民医療、二〇〇九年七月号
- * 「二〇〇九年、二周目に向けて」非核の政府を求める石川の会『核兵器のない世界を―非核の政府を求める石川の会二〇〇九年の歩み』非核の政府を求める石川の会、二〇〇九年
- * 「学術会議だより」社会保障法二四号、二〇〇九年
- * 「人間の尊厳と人権、戦争責任―〇九年版 第二回 中国四川地震と住み続ける権利（前編）」月刊国民医療、二〇〇九年一月号、後編、二〇一〇年一月号
- * 「住み続ける権利と高齢者権利条約」ゆたかなくらし、二〇一〇年一月号
- * 「障害のある人と人権」協う（くらしと協同の研究所）、二〇一〇年二月号
- * 「高齢者の人権が生きる地域づくり」丹波市『じんけん丹波』人権啓発冊子五号、二〇一〇年
- * 「能登半島地震学術調査部会報告書の概要と政策提言」金沢大学能登半島地震学術調査部会『安心して住み続けられる地域を創る―金沢大学能登半島地震学術調査部会報告書』、二〇一〇年
- * 「健康権と人権のない手」『石川医報』石川県医師会、二〇一〇年三月一六日号
- * 「核廃絶と高齢者権利条約採択に向けて」福祉のひろば、二〇一〇年七月号
- * 「人権の旗を掲げよう―にない手の人権が侵害されている」月刊医療労働、二〇一〇年七月号

- * 「二〇一〇年NPT(核不拡散条約)再検討会議―石川県代表団のニューヨーク行動」 「核兵器のない世界を」 国際署名をすすめ、二〇一〇年国連に代表を送る石川県実行委員会 『二〇一〇年NPT再検討会議要請行動報告集』、二〇一〇年
- * 「平和的生存権と高齢者の権利条約」 ゆたかなくらし、二〇一〇年八月号
- * 「真の介護保障への道―介護保険制度一〇年を斬る」 月刊国民医療、二〇一〇年九月号
- * 「報告書に寄せて 震災と住み続ける権利」 石川県聴覚障害者協会(能登半島震災聴覚障害者対策本部) 『能登半島地震聴覚障害者支援活動を考える』、二〇一〇年
- * 「社会保障・憲法二五条をより豊かに―生存権裁判によせて」 ゆたかなくらし、二〇一〇年一月号
- * 「平和的生存権と高齢者権利条約―人間の尊厳と人権、戦争責任―一〇年版 第一回」 月刊国民医療、二〇一〇年一月号
- * 「トークナウ二〇一一 それでも人類の未来には希望が持てる」 ゆたかなくらし、二〇一一年一月号
- * 「住み続ける権利と健康権確立のために―『地域医療再構築プロジェクト』によせて―」 月刊国民医療、二〇一一年一月号
- * 「まえがき」 「特集 ハンセン病医療政策と人権保障―ノルウェーとの比較において―」 日本の科学者、二〇一一年一月号
- * 「生活保護法から独立生活保障法へ」 月刊生活と健康、二〇一一年一月号
- * 「はじめに」 藤波努責任編集 『認知症高齢者介護と情報技術一』 社会福祉と情報技術研究会、北陸

先端技術大学院大学、二〇一一年

- * 「井上会長が聞く!!」『旭ヶ岡の家』グロッド神父」ゆたかなくらし、二〇一一年三月号
- * 「障害者基本法から『障害のある人の独立保障法』へ」みんなのねがい、二〇一一年五月号
- * 「人権保障と医療・福祉問題研究会―人権のない手を育て、人権保障の砦を築く」医療・福祉研究二〇号、二〇一一年

* 「国のかたちを変える―住み続ける権利の保障を」ゆたかなくらし、二〇一一年五月号

* 「平和的生存権と高齢者権利条約」ゆたかなくらし、二〇一一年六・七月合併号

* 「東日本大震災と住み続ける権利」医療労働、二〇一一年七月号

* 「東日本大震災と住み続ける権利」ゆたかなくらし、二〇一一年九月号

* 「生存権裁判勝訴で福祉国家建設を」ゆたかなくらし、二〇一二年一月号

* 「生存権裁判と新たな福祉国家」月刊生活と健康、二〇一二年一月号

* 「大震災と社会福祉施設―人権の砦として」ゆたかなくらし、二〇一二年三月号

* 「障害をもつ人の参政権とコミュニケーション保障」要約筆記問題研究二三号、二〇一二年

* 「巻頭言 新たな福祉国家と生存権裁判」季刊公的扶助研究二二五号、二〇一二年

* 「生存権裁判の特集にあたって」特集「高齢者はたたかう 生存権裁判勝利にいのちかけて」ゆたかなくらし、二〇一二年七月号

* 「はじめに―軽くなった生命」全国「餓死」「孤立死」問題調査団編『「餓死・孤立死」の頻発を見よ―生活保護バッシングで隠された真実』あけび書房、二〇一二年

* 「第五章 生活保護バッシング、餓死・孤立死事件と生存権裁判」生活保護問題対策全国会議編

『間違いだらけの生活保護バッシング—Q & Aでわかる生活保護の誤解と利用者の実像』明石書店、二〇一二年

* 「障害のある人と生活保護（上）（下）」すべての人の社会、二〇一二年八月号、九月号

* 「生活保護—行政の『適正化』こそ必要」日本婦人団体連合会編『女性白書二〇一二』、二〇一二年

* 「わが著作を語る—『住み続ける権利』の確立に向けて」ゆたかなくらし、二〇一二年九月号

* 「大震災と住み続ける権利、社会保障・健康権—世界の被災地から学ぶ」青森県保険医協会編『地域医療再生の処方せんを共に考え、明日の街づくりを活かそう』「医療・介護・福祉／社会保障フォーラム in 花巻」報告集、二〇一二年

* 「住み続ける権利と独立生活保障法」ゆたかなくらし、二〇一三年一月号

調査報告

* 井上、国立医療機関統廃合に関する高知県現地調査団「国立医療機関統廃合に関する高知県実態調査報告書」国立医療を守る高知県民の会発行、一九八九年

* 井上、伍賀、横山他「過疎地域における医療・福祉—珠洲市日置地区医療・福祉実態調査報告」金沢大学文学部『日本海文化』一六号、一九八九年

* 井上「国立久留米病院の存続とよりよい医療をめざして」国立中連『講演集 国立病院・療養所の存続・強化をめざして』一九九〇年

* 『老人医療「無料化」 in 沖繩報告集』一九九二年

- * 井上、西岡、我妻「新春座談会 展望もちチャンス生かす年に」民医連医療、一九九三年一月号
- * 「現地調査」北海道実行委員会『今 人間らしく生きる権利を―北海道の医療と福祉を守る全国現地調査報告集』、一九九四年
- * 井上「市民病院の真の再建・再生をめざして」『病院給食の業務委託にかかわる土佐市民病院の医療、経営実態調査報告』月刊医療労働、一九九六年一月号
- * 国立療養所西香川病院を発展させ地域医療を守る医療実態調査団『国立療養所西香川病院の移譲と地域医療に関する実態調査報告書』、一九九八年
- * 金沢市障害者計画策定委員会報告書『ノーマライゼーションプラン金沢』、一九九八年
- * 金沢市障害者雇用推進研究会『報告書』、一九九八年
- * 金沢市介護保険事業計画等策定懇話会『長寿安心プラン二〇〇〇』、二〇〇〇年
- * 置賜地域医療・福祉実態調査団『山形県置賜地域 医療・福祉実態調査報告書』、二〇〇一年
- * 金沢市介護保険運営協議会『長寿安心プラン二〇〇三』、二〇〇三年
- * 「資料・日本軍慰安婦と戦後半世紀」金沢法学第四五巻第二号、二〇〇三年
- * 金沢市障害者施策推進協議会『ノーマライゼーションプラン金沢二〇〇四』、二〇〇四年
- * 『ハンセン病療養所を社会に―栗生楽泉園とまちの明日を創る』月刊国民医療、二〇〇四年四・五月合併号
- * 連合石川総研『よりよいグループホームにするための実態調査結果報告』（調査委員会委員長）、二〇〇六年
- * 「旧満州国立『癩』療養所同康院調査報告」一五年戦争と日本の医学医療研究会会誌七巻一号、

二〇〇七年

* 北九州市生活保護問題全国調査団『北九州市生活保護問題全国調査団報告書』（調査団長）、二〇〇七年

* 金沢大学能登半島地震学術調査研究報告の概要―能登半島の人間と地域の復旧・復興に向けて―
―金沢大学能登半島地震調査部会平成一九年度報告書『過疎・超高齢化地域での震災に関する総合的調査研究』、二〇〇八年

* 「はじめに―震災と住み続ける権利」「おわりに」金沢大学能登半島地震学術調査部会（生活・住居・福祉班）四川大地震調査団『四川（汶川）大地震現地調査報告書』、二〇〇九年

* 金沢大学能登半島地震学術調査部会『安心して住み続けられる地域を創る―金沢大学能登半島地震学術調査部会報告書』、二〇一〇年

学会報告

* 「公共部門におけるスト権の国際的動向とスト規制法（共同報告）」日本労働法学会、一九七四年

* 「障害者と損害賠償」日本法社会学会、一九八〇年

* 「社会保障法の提起するもの」民主主義科学者協会法律部会、一九八一年

* 「人権としての社会保障と堀木訴訟」日本社会保障法学会、一九八二年

* 「社会保障法と教育条件基準論」日本教育法学会、一九八三年

* 「公的扶助をめぐる国際的動向」日本社会保障法学会（共同報告）、一九八四年

* 「老人保健施設と費用負担問題」日本社会福祉学会第三七回大会、一九八九年

- * 「企業の法律学的検討」コメント「社会法学から」民主主義科学者協会法律部会、一九九二年
- * 「健康権保障と医療・看護労働」社会政策学会、一九九三年
- * 「健康権と高齢者の医療保障」日本社会保障法学会、一九九三年
- * 「震災と医療保障」日本社会保障法学会、一九九七年
- * 「福祉国家と社会保障法」民主主義科学者協会法律部会、一九九七年
- * 「社会保障争訟の意義と展望」日本社会保障法学会、二〇〇〇年
- * 第七回日本言語聴覚学会特別講演「コミュニケーション障害のある人の生活を支える視点—ノーマライゼーションと人権」、二〇〇六年
- * 井上、辻他「社会保障の法と政策」日本社会保障法学会、二〇〇七年
- * 「社会保障・社会福祉基礎構造改革の検証—認知症高齢者グループホームを中心に—」日本社会福祉学会中部部会、コーディネート、二〇〇七年
- * 「格差—不平等・貧困社会とナショナルミニマム—人権」民主主義科学者協会法律部会、二〇〇七年
- * 「ハンセン病問題と人権、社会福祉」日本社会福祉学会第七回政策・理論フォーラム、二〇〇八年
- * 基調講演「国連・高齢化国際行動計画と福祉サービスの利用支援と自立支援」日本社会福祉学会、第四回日本社会福祉学会フォーラム、二〇一〇年
- * 「災害と社会保障」日本社会保障法学会、二〇一二年
- * 「社会保障とローカル・ガバナンス」コメントレーター、日本地方自治学会、二〇一二年